

クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2022年11月15日

ナイジェリア未電化地域支援ファンド1・2・3・4号

の状況についてのご報告

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、契約期間を延長させていただきました標記ファンドシリーズについて直近の状況をご報告申し上げます。

本レポートの要旨

- ・本営業者グループ会社（後述、以下同じ）社員が2022年10月中旬にDA社オフィスおよび同社の取引銀行を訪問し、各関係者立会の下で財産保全状況の確認と送金手段の協議を行いました。
- ・検討中の送金手段に適用される為替換算レートがナイジェリア中央銀行の公示レートよりも大きくナイジェリアナイラ安に動いているため、公示レートに基づいて融資した本件ローンの回収資金が、ドル建てでは相応に目減りすることが予測されます。

（2022年10月 DA社オフィス訪問の要旨）

- ・DA社が2021年4月末以降、本営業者グループ会社への返済原資として留保する資金について、本営業者グループ会社社員はDA社取引銀行を訪問のうえで銀行取引明細（Bank Statement）を受領し、口座残高を確認しました。
- ・送金手段を再協議した結果、ナイジェリアで収納代行業を営む本邦企業（以下「収納代行業者」といいます）のサービスを通じて送金することについてDA社と合意いたしました。

【本ファンドの概要】

本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます。）は Crowdfund Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます。）にナイジェリアナイラ建てで貸付を行い、本営業者グループ会社はこの貸付金を原資に、（案件①）ナイジェリア連邦共和国において太陽光発電システムの販売設置を行っている小型太陽光発電システム販売会社 DA 社（以下 DA 社）に対して貸付を行うと共に、（案件②）Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介して、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の

購入を行いました。

【返済資金の状況】

1号・2号・3号・4号それぞれのファンド資金について、本営業者グループ会社はDA社に対して、融資の返済原資をDA社名義の銀行口座に留保し続けることを依頼し、DA社からの同意を得ました。2022年10月中旬には本営業者グループ会社社員が現地に訪問し、DA社取引銀行のProvidus Bank担当者より直接2022年10月中旬時点の銀行取引明細(Bank Statement)を受領し、DA社が本営業者グループ会社へ返済すべき元利金¹がDA社名義の口座内に留保されていることを確認しました。

本営業者は後述のとおり、DA社および収納代行業者と連携して暗号資産等を介した送金による資金回収に向けて手続きを進めております。その回収の時までDA社名義の銀行口座に返済原資を留保するよう、引続き要請しています。

【返済資金の回収に向けた取組の状況】

本営業者は従前の資金回収方針として、DA社の意向を踏まえて、DA社と取引のあるAccess Bankから外国送金を受取ることでの回収を基本路線としていました。そして、同行はナイジェリア中央銀行(以下、CBNといいます)に対して、現地通貨から米ドルへの両替を申請済みでした。しかし、ナイジェリアが近年著しい外貨準備高不足に見舞われていることなどを背景に、CBNの両替許可が一向に下りず、送金の見通しが立たない状況が続いておりました。

その状況を踏まえ、2022年10月中旬に本営業者グループ会社社員がDA社のオフィスを訪問し、収納代行業者を含む3者で資金回収方法について協議しました。そこで、次の(1)～(4)等を総合的に判断し、収納代行業者の利用に関する合意に達しました：(1)ナイジェリアにおける外貨不足は深刻度を増す一方であり、当面CBNから米ドルへの両替の許可が下りる期待が薄いこと、(2)DA社が返済原資の預入銀行をAccess BankからProvidus Bankへと変更し、そのProvidus Bankが収納代行業者の利用に協力的なこと、(3)収納代行業者が日本・ナイジェリア間の送金サービスに関して豊富な取り扱い実績を持つこと、(4)収納代行業者を通じた海外送金がナイジェリア当局の指摘を受ける懸念が限定的であること。

現在は早期解決に向けて契約書類の準備等の手続きを進めております。

なお、収納代行業者を介して資金回収を行う場合には、ナイジェリア中央銀行の公示レートよりも足元では大きくナイジェリアナイラ安の為替換算レートで米ドルに両替するために、公示レートに基づい

¹ 総額 NGN 750,461,291.89 (2020年10月分 NGN 159,174,797.87、同年12月分 NGN 285,712,676.12、2021年1月分 NGN 152,120,520.83 および同年2月分 NGN 153,453,297.07。)

て融資した本件ローンの回収資金が、ドル建てでは相応に目減りすることが予測されます。しかし、2022年10月に現地で行った各方面へのヒアリング等を踏まえて次の(1)~(3)等を確認し、収納代行業者を利用する資金回収が総合的にみてファンド財産の回収最大化に資するものと判断して手続きを進めています：(1) ナイジェリア国全体が外貨不足に陥り、官民を問わず外貨の調達に苦慮しており、その解消時期の予測が困難なこと、(2) 時間の経過とともに DA 社の信用リスク、為替リスクおよびナイジェリアのカントリーリスクにさらされる期間が長期化すること、(3) (2)のうち特に為替リスクについて、2022年10月26日に CBN が、2022年12月15日の新紙幣流通開始および2023年2月1日より現行紙幣を兌換不可とすることを発表したためにリスクの高まりが予見されること。

【補足説明：収納代行業者のサービスおよびその利用に際しての留意点】

収納代行業者がナイジェリアから海外へ財産を移転する方法、および、そのサービスの利用にあたって考え得る本件固有のリスクについて、以下に補足説明を申し上げます。

国外送金の方法について

収納代行業者は、本営業者グループ会社に代わって DA 社からナイジェリアナイラ建の返済金を回収し、その資金で、米ドル現金または米ドル現金と価値が連動する仕組みを持つ暗号資産を購入します。そして、その米ドル現金または暗号資産をナイジェリア国外へ移転する方法を取る予定です。

リスクについて：暗号資産の価値低下リスク

収納代行業者が暗号資産を購入する場合、暗号資産購入から本営業者グループ会社口座への入金までの間に、米ドル現金に連動するとはいえ、当該暗号資産の価値が米ドル現金に対して下落するリスクがあります。本営業者グループ会社は過去1年間のデータを検証し、米ドル現金と暗号資産の価値との乖離が最大でも0.4%未満にとどまるため、そのリスクが限定的なことを確認済みです。しかしそのうえで、収納代行業者へ資金移転を依頼する前に、米ドル現金の受取金額について収納代行業者とあらかじめ合意をします。合意をすることで、もし当該暗号資産の価値が米ドル現金に対して下落しても、収納代行業者は合意した米ドル現金額を本営業者グループ会社へ支払う義務を負います。

リスクについて：収納代行業者の信用リスク

収納代行業者が DA 社より回収する資金を海外へ移転し、本営業者グループ会社名義の銀行口座に入金するまでの期間において、収納代行業者の信用リスクを負います。

本営業者グループ会社は上記のリスクを検証した上で、収納代行業者を介して回収を進めることが、ナイジェリアの公認銀行による海外送金の回復を待つよりも、総合的にみてファンド財産を毀損するリスクが低いものと判断しました。

DA 社は、収納代行業者へ送金するまでの間、返済金の一部または全部を、ナイジェリア国内にある



DA 社名義の銀行口座に維持します。本営業者グループ会社は、DA 社に対して今後も銀行取引明細の提出を求め、DA 社が当該資金を自らの事業等に流用する等によるファンド責任財産の毀損が生じないようにモニタリングを継続してまいります

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号